

平成30年度 第1学年 授業改善推進プラン

	課題(児童の実態、学習状況、指導の実態)	改善プラン(課題の改善プラン、具体的手立て)
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ひらがなやカタカナの習熟に個人差が見られる。 ・拗音、促音、格助詞の使い方に課題が見られる児童が多い。 ・文章に即した解答することに課題が見られる児童が多い。 ・読書を好む児童は多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・読み書きの基本となる文字を正しく覚え、しっかりと定着するように、授業や家庭学習で繰り返し練習する。 ・日頃の授業の中で文章を書く経験をさせ、正しい使い方を意識させる。フラッシュカードで拗音、促音の読みの練習を繰り返す。 ・問いの文を板書し、「何が問われているか」を全体で確認する。 ・ペアで話したり、質問に答えたりする経験を増やす。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・たし算とひき算の意味理解が曖昧な児童がいる。 ・文章問題を自力で読み、解決することが難しい児童がいる。 ・10より大きな数が出てきた場面で10のまとまりで考えることが難しい児童がいる。 ・時計が読めない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・加法・減法の計算が確実にできるよう、計算カードや家庭学習で繰り返し計算練習に取り組ませる。 ・文章問題を図に示したり、算数ブロックやおはじきなどの具体物を使ったりして、学習場面を確実に理解できるようにする。 ・個別に具体物を使ってイメージできるように繰り返し指導をする。児童同士で教え合う活動や場面を増やす。
生活	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を楽しむことができる。 ・活動を通して気づいたことを表現し、わかりやすく伝えることが難しい児童もいる。 ・人・もの・自然とかかわることが好きな児童は多いが、気づいた事に自ら深く探求しようとしたり、工夫したりすることに課題が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のねらいをきちんと示し、それらについて必ず振り返りを行う。友達と考えを交流させる時間を十分に確保し、気づいたことを共有する。 ・活動を繰り返し行う中で、よい工夫をしている場面を紹介し、価値づける。 ・児童がより興味や関心をもてるよう、教師側からの提示の仕方を工夫する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく歌ったり、リズム遊びをしたりすることができる。 ・楽器の演奏経験に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・斉唱で友達と一緒に歌う喜びを味わい、自分や友達の声を意識してのびのびと歌うようにする。 ・リズム唱やリズム打ち、身体表現を通してリズム感を十分身につける。 ・鍵盤ハーモニカなどを使って、だれもが簡単な演奏をできるようにして、音を奏でる楽しさを味わわせる。課題曲を決めてできるようになるまで個別に指導する。
図工	<ul style="list-style-type: none"> ・のりやはさみ、クレヨン、絵の具などの道具の使い方が未熟な児童がいる。 ・丁寧に製作活動に取り組めない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形表現の基礎(切る・折る・ぬる)をしっかりと身につけさせるために、手先をたくさん動かす題材を設定する。 ・丁寧に取り組んでいる児童の作品を鑑賞し、良いところを見つけ合う。
体育	<ul style="list-style-type: none"> ・集合や整列など、集団行動の基本が身につけていない児童がいる。 ・ゲームのルールを理解し、楽しむことができるようになるまで時間がかかる。 ・遊具などでの遊びの経験に差が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の最初と最後に整列し、素早い行動を身につける。 ・ゲームのルールを児童の実態に合わせたものとし、わかりやすく掲示する。 ・結果よりも過程を大事にし、勝敗を素直に認め合う基盤を育てる。 ・遊具を使った日常の遊びを充実させ、体力づくりをする。
道徳	<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと仲良くしたり、協力したりすることの大切さはわかっているが、集団の一員としての自覚が乏しく、自分本位な行動に出てしまう児童が見られる。 ・授業の内容を自分のこととして捉えきれていない児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な場面で起こりがちな話題を取り上げ、児童が登場人物と気持ちを重ねて考えることができる教材を選定する。 ・授業の中でペアで意見を話し合ったり、ワークシートに書いたりする時間を設定する。